

つうしん
「うちどく」通信～2019.2～〔筑南小学校 毎月7日はうちどくの日〕

【2/8 提出分】

提出数/人数 (欠席・免除)

提出数/人数 (欠席)



1年 16/17 (1) ☆GOOD☆

4年 21/21 ☆GOOD☆

2年 22/23

5年 24/25 (1) ☆GOOD☆

3年 17/19 (2) ☆GOOD☆

6年 20/20 ☆GOOD☆

全校 120/125 (4)

1年 まあ 『はがぬけたらどうするの?』セルビー・ビーラー (きょうかしょ) Eヒ

聞いた人: お母さん

まあ: ぬけたはをイヤリングにする人がいるとはおもいませんでした。コスタリカの人は、すごいとおもいました。

お母さん: 兄につづき、妹も借りてきました。教科書にもものっていますが、よりくわしくいろんな国のぬけた歯をどうするのかわかっておもしろかったです。国によってやりかたもさまざまでした。

1年 だいち 『かばくん』岸田衿子 (きょうかしょ) Eハ 聞いた人: お母さん

だいち: かばくんが目をつぶってでてきたので、かめくんがおこしてあげてやさしいとおもいました。お母さん: かばくんから見た動物園の一日って、こんな感じなんだあ。いろんな子たちが来てくれるとサービス多めにしてみたりと、かばくんのゆったりのんびりする本を借りてくるあたりが息子らしいな…。

2年 るな 『ハエをのみこんだおばあさん』シムズ・タバック Eタ

聞いた人: お母さん

るな: さいしょはなんだろうと思ったけど、さいごはかなしいおはなしでした。お母さん: どうしてハエをのみこんでしまったのか、最後の最後まで理由がわからず不思議なお話でした。

2年 りお 『30分でできる伝統おやつ 冬のおやつ』伝統おやつ研究クラブ 59テ

聞いた人: お母さん

りお: いろんなおかしがのっていたし、チョコレートがのっていたからバレンタインにいいと思いました。チョコレートがたくさんつくりたいです。お母さん: バレンタインに近いこともあり、何を作ろうかと一緒に話しながら考えました。女の子になっているみたいで、成長を感じました。

3年 きょうしろう 『ざんねんないきもの事典』今泉忠明 48サ 聞いた人: お母さん

きょうしろう: いろいろな生きものには、ざんねんなどころがあるということがわかりました。人間には、残念なところがあるのかなあと思いました。お母さん: とてもおもしろい本です。大人もしんげんに読んでしまいます。

3年 せな 『しーっ! ぼうやがおひるねしているの』ミンフォン・ホ Eホ

聞いた人: お母さん、まりさん

せな: ぼうやがねていると思いました。でも、よく見たら動いていたから、お母さんは気づかなかったのかなあと思いました。お母さん: 文章を一言ずつきちんと読んでいました。聞いている妹が興味を持つような音読だったようで、あとからもう一度、妹と一緒に読んでいました。

4年 ゆうな 『しずくちゃん⑥』ぎぼりつこ Eキ 聞いた人: お母さん

ゆうな: しずくちゃんを見たら、わたしもしずくちゃんみたいになりたいです。お母さん: 絵がかわいくて、お話がおもしろかったです。

4年 じゅか 『ちか100かいだてのいえ』いわいとしお Eイ

読んだ人: お父さん

じゅか: 10ぴきのどうぶつを見ました。

お父さん: エレベーターがなおって良かったね。かえりはラクチン。

5年 しんじろう 『月きゅうでん』桂文我 Eカ 聞いた人: お母さん

しんじろう: 川で魚をつっていたら、うなぎがつれて、それがどんどん大きくなっていき、月きゅうでんというところにつれていかれてから赤おにみたいなやつがきて、二人は知り合いだったから、「えー」と思いました。

お母さん: 月きゅうでんというところへつれて行かれて、赤おにみたいなやつって大王さまです。大王さまは、へそを集めているっていうけど、へそを集めてどうするのか知りたかったです。

5年 じんた 『14ひきのひっこし』いわむらかずお Eイ

聞いた人: お母さん

じんた: ぼくも、木の家に住んでみたいなと思いました。

お母さん: 絵がかわいらしい本でした。14ひきのねずみの家族が協力してひっこし、生活の準備をしているお話でした。みんな仲良しでいいねえと話しました。

6年 はるな 『おによりつよいおよめさん』井上よう子 Eイ

聞いた人: お母さん

はるな: おには、村におよめさんをお願いにきて、おによりつよいおよめさんをよめにもらい、最初は、「役に立たない。」などと言っていたけど、最後はおよめさんがクマを持ち上げてたおしたので、よかったと思いました。

お母さん: おにが想像していたおよめさんとちがって、家事もせずに大めし食らいでしたが、クマを投げとばしておにを助けたおよめさんを、今度はおにが支えて家事をする、仲むつまじいお話でした。

6年 かなみ 『もりのおくのおちゃかいへ』みやこしあきこ Eミ

読んだ人: お母さん

かなみ: ケーキをとどけるとちゅう、ケーキがぐちゃぐちゃにつぶれてしまったとき、森のクマさんをお父さんとかんちがいしてついて行ったら、お茶会に行つて、心よくしてくれたクマさんたちは、その後ケーキまでくれて、他の誰にもないしよでおばあちゃんの家を探しに行ってくれたのでやさしいと思いました。

お母さん: 動物たちのお茶会に歓迎されてキッコちゃんはびっくりしながらもうれしくなり、おばあちゃんへケーキを一人で届けることを伝え、とくいげになる心の変化が良かったです。